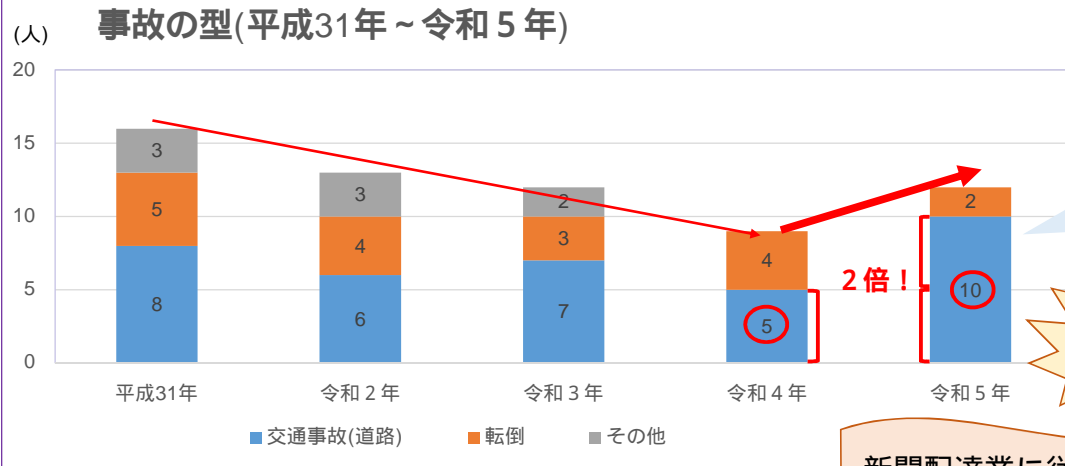


新聞販売業における交通事故災害が増加！

豊橋労働基準監督署

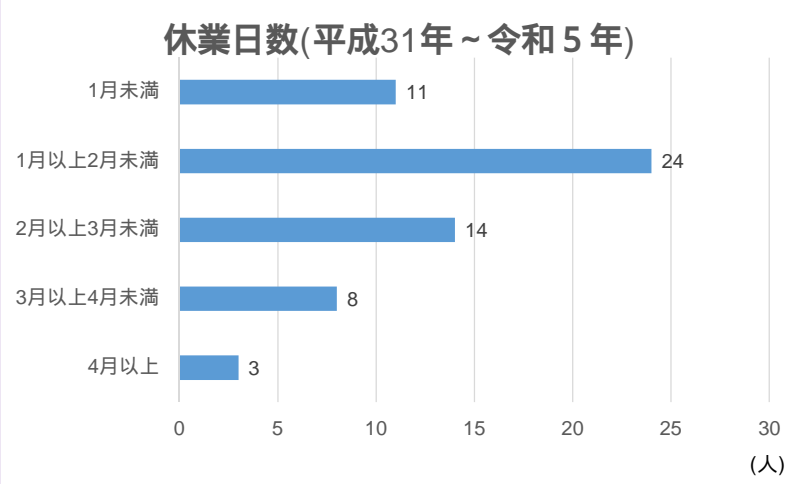
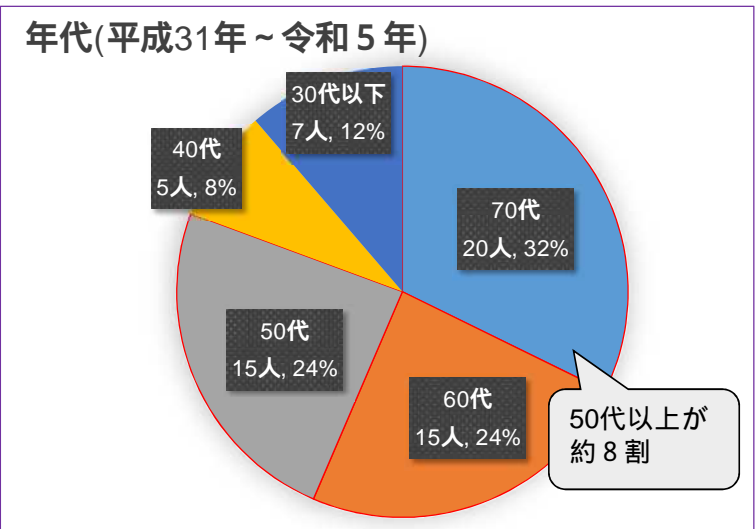
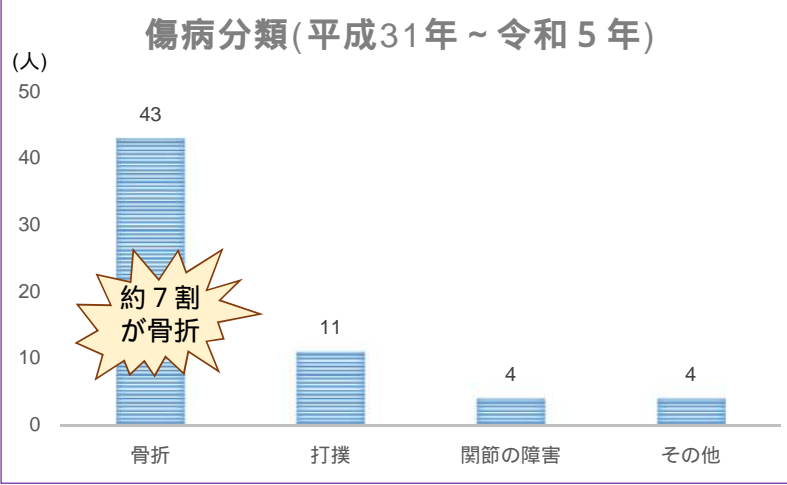
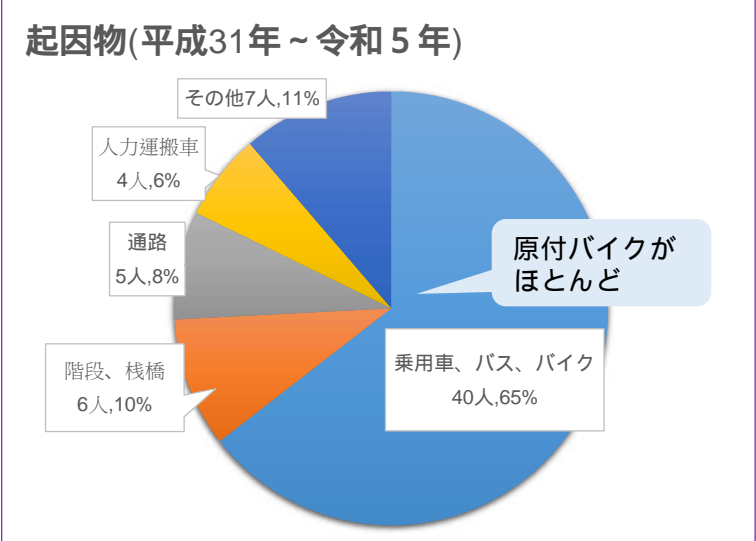
豊橋労働基準監督署における過去5年間（平成31年～令和5年）に発生した新聞販売業での休業4日以上の労働災害発生状況は下記のとおりです。事故の型では、交通事故が過去5年間とも最多であり、次に転倒によるものが多い結果となっています。令和4年までは減少傾向にありましたが、令和5年は12件と対前年比3件増加し、交通事故については前年比で倍増の10件となっています。受傷した労働者は高齢者の方が多く、50歳以上がおよそ8割を占めています。さらに、令和元年及び令和5年には、交通事故による死亡災害が発生しており、事業場の皆様方におかれましては、引き続き労働災害防止に努めていただきますようお願いいたします。



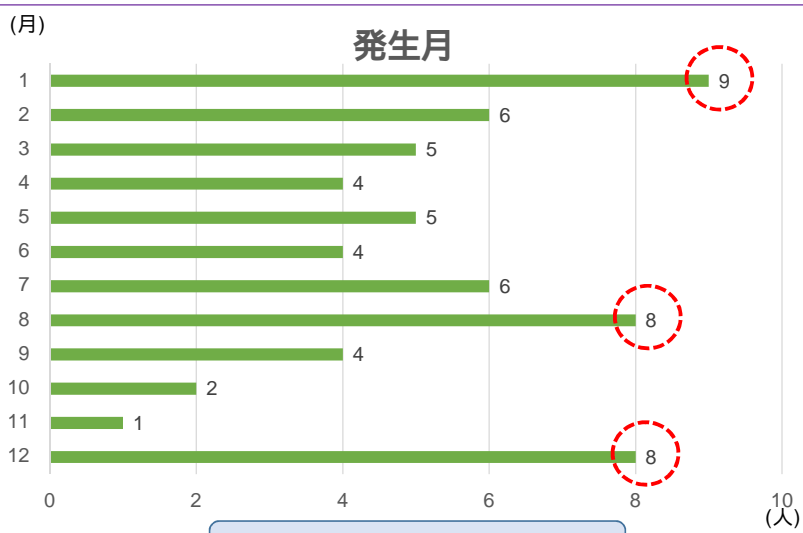
令和5年は昨年に比べ、件数が増えただけでなく、交通事故の件数も倍増し、さらに、交通事故による死亡事故が1件発生しました。

約8割が交通事故

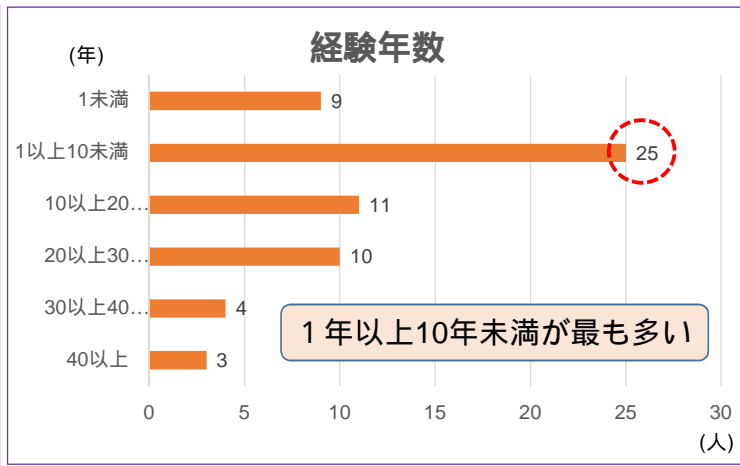
新聞配達業に従事する労働者は年齢層が高く、一度労働災害に遭うと、骨折等による長期間の休業を伴う場合が多いです。



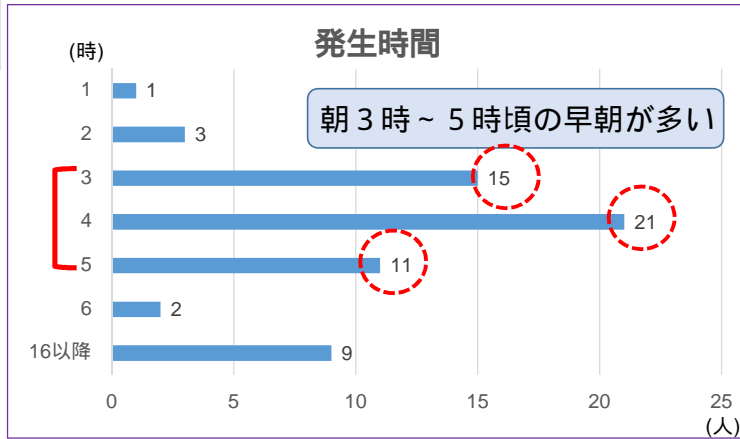
「労働者死傷病報告書（休業4日以上の死傷災害（各年の1月～12月まで））（平成31年～令和4年：確定値、令和5年：令和6年2月末速報値）」参考



12月～1月、8月が特に多い



1年以上10年未満が最も多い



朝3時～5時頃の早朝が多い

交通労働災害を防止するために以下の事項について対策をしましょう！

交通労働災害は、**死亡災害の約2割**を占めており、事業用自動車に限らず発生し、重大な災害につながるおそれがあります。交通労働災害を減らすために、交通労働災害防止のためのガイドラインが策定されています。事業者の皆様方は以下の項目の取り組みを行いましょう。

- 安全ベストやヘルメットの着用の徹底
 - 雨天時のマンホールなどの上でのスリップや巻き込み事故などの危険性についての教育
 - 他車両からの視認性向上のために、早朝や夕暮れ時は早めの**ライト点灯**
 - 交通事故発生状況などを記載した**交通安全情報マップ等**を作成し、教育・周知を行う
 - 異常気象や天災**の場合は、迅速な情報共有を行い、必要に応じて**走行の中止、徐行運転**や**一時待機**などの指示を行う。
- (交通労働災害防止のためのガイドライン参考)

災害発生事例（令和5年発生分）

発生月	時刻	年齢	休業日数等	災害発生状況
1月	3時	58	2か月	バイクで次の配達先へ向かうため、道路で方向転換した際に、凍結していた箇所ではバイクが倒れ、バイクと道路の間に足首を挟み、骨折した。
1月	5時	75	4か月	原付バイクで配達先に向かい、停車しようとしたところ、バランスを崩して転倒し、左太ももを骨折した。
5月	4時	57	2か月	配達先の入口付近の段差に躓き、転倒し、右手首を骨折した。
6月	3時	71	2か月	原付バイクで配達先へ向かっていたところ、対向車両に衝突し、腹部や太腿を骨折した。
10月	4時	72	2か月	自転車で配達作業を行っていたところ、走行面の状況が悪くバランスを崩して転倒し、頭部や左腕を裂傷、骨折した。
12月	7時	44	死亡	原付バイクで事業場へ戻っていたところ、道路にいた動物を避けようとして転倒してしまい、後頭部を強打した。